

九州女子大学 家政学部 人間生活学科
令和 3 年度 一般推薦選抜・技能特待生選抜
出題のねらい・解答例

【小論文】

Ⅰ 日常的に使用している漢字を正確に記述する。漢字の読みを正しく書く。

(a) 感心 (b) 奮闘 (A) がい して (B) すみずみ 各 5 点×4 問 20 点

Ⅱ 各 5 点×2 問 10 点

(X) 知らない慣用句であっても、使用している漢字から類推できるか。

「微に入り細をうがって」とは、きわめて細かい(微細な)ところまでという意味であることから、[2]詳しく が正解となる。

(Y) 言葉のさす内容を文章中から正しく読み取れるか

「大変に厳しい環境」とは、「売上げが激減した事」である。

Ⅲ 文章の内容を十分に踏まえ、エッセンシャルワーカーの方々(医療従事者、介護福祉士、スーパーの店員等々)が、コロナ禍において感染リスクと闘いながら、社会機能を維持するために人々の命や暮らしを守る仕事に従事していることに対して、自分なりの考えを述べる。この設問は、正解を導くのではなく、自分自身(受験者)が、タクシー運転手以外のエッセンシャルワーカーに対する思いを自由に記述する。その際に評価する点は、次のとおりである。

(1) 誤字・脱字がなく、示された文字数で記述されているか。

(2) 起承転結といった文章構成がなされているか。

70 点

以上 Ⅰ Ⅱ Ⅲ の総合評価とする。